

## 二次病院における初回抗てんかん薬不応例の検討

2018年4月1日から2023年5月31日までに当院小児科外来でてんかんと診断され抗てんかん薬を開始された患者さん

### 研究協力をお願い

当科では「二次病院における初回抗てんかん薬不応例の検討」という研究を行います。この研究は、2018年4月1日から2023年5月31日までに当院小児科外来でてんかんと診断され抗てんかん薬を開始された患者さんの臨床的特徴を調査する研究で、研究内容や研究方法は以下の通りです。直接のご同意は頂かずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては、研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

#### (1) 研究の概要について

研究課題名：二次病院における初回抗てんかん薬不応例の検討

研究期間：2023年5月～2024年3月

当院における研究責任者：北九州総合病院 小児科 部長：石井 雅宏

#### (2) 研究の意義・目的について

近年新規抗てんかん薬が増加したことにより、小児の治療抵抗性のてんかんに対しての選択肢が増えました。それと同時に初回の抗てんかん薬もCBZやVPA、ZNSに加え、LEV、LTG、LCM、PERも使用可能になりました。しかし、依然として小児の初回抗てんかん薬不応例も存在します。このような状況の変化のもとで2次病院における初回抗てんかん薬不応例にどのような特徴があるのか検討し、3次病院への連携をスムーズにするのが目的です。

#### (3) 研究の方法について(研究に用いる試料・情報の種類および外部機関への提供について)

2018年4月1日から2023年5月31日まで当院の小児神経外来でてんかんと診断され初回の抗てんかん薬が開始された例を診療録で性、開始年齢、発作型、初回の抗てんかん薬の種類と継続できたが否か、基礎疾患、予後を後方視的に検討します。これらの情報を記入した調査票と電子データは、小児科医局の鍵付きデスクで2024年3月31日まで保管します。

- (4) 共同研究機関(試料・情報を利用する者の範疇および試料・情報の管理について責任を有する者)

なし

- (5) 個人情報保護について

収集情報には氏名、居住地の情報は含まれません。

- (6) 研究成果の公表について

研究結果は日本てんかん学会で発表します。

- (7) 当院における問い合わせ等の連絡先

北九州総合病院 小児科 部長：石井 雅宏

〒802-8517 福岡県北九州市小倉北区東城野町 1-1

電話番号：093-921-0560